

【ATC フィロソフィ®】

こんにちは、アークテックコム株式会社で、技術書類の作成と翻訳を行っています豊原 信です。



ウェブサイト：
<https://arc-tec-com.com>

Tel : 050-6864-6201

Fax : 050-6864-6202

E-mail : m.toyohara@arcteccom.jp

愛と誠と調和

今月は弊社のフィロソフィの紹介です。応援メッセージはお休みします。

弊社のフィロソフィの続きです。

愛と誠と調和の心をベースとする

人生においても仕事においても素晴らしい結果を生み出すためには、ものの考え方、心のあり方が決定的な役割を果たします。

人を成功に導くものは、愛と誠と調和という言葉で表される心です。こうした心は、私たち人間がもともと魂のレベルで持っているもので、「愛」は、全てのものの多様性を受容し共生しようとする心。「誠」は、全てのものために尽力しよ

うとする心。「調和」は、自分だけでなく周囲の全てのものが、常に幸せに共生することを願う心のことで

す。
この愛と誠と調和を尊ぶ心から出てくる思いが、その人を成功に導いていく基盤となるのです。

愛と誠と調和に満ち満ちた心、常に心をそういう状態に置いて行動することが必要です。

「愛」と「誠」と「調和」、この3つは、私たちが本来持っている根源的なものであり、かつ宇宙の根源的なものでもあると思うのです。

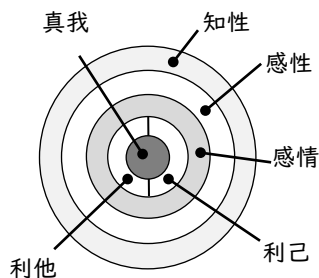
あなたという存在は、肉体だけを表すのではなく、心というものもそこにはあるはずで

す。その思いが出てくる大元は何だろうと問い詰めていきますと、「魂」という霊性を帯びたものがあるのではないかと、ということに思い当たります。

つまり、「自分とは何だろう」と尋ねることは、人間の本质というものを追求していくことでもあるわけ

です。
インドのヨガでは、瞑想などを通じて、自分というものの根源に迫ろうとします。目を閉じてマントラ（祈りの言葉）を唱えながら精神統一をしていきま

れを「真我に至る」と言ったり、「自分が存在しているということだけは覚めた意識で実感しているけれども、その他すべての意識が消えてしまって、【ただ存在する】としか言いようのない感覚にたどり着いた」と言ったりします。



仏教では、「山川草木さんせんそうもく悉皆成仏しっかいじょうぶつ」と言ひ、山も川も草も木も、すべてごとく仏であると教えます。昔、祖父母や両親などから「ご飯粒ひとつにも仏が宿る」などと教わったことがあるのではないのでしょうか。

このように、人間の本質、根源についてはさまざまな表現があるわけですが、その本質とは「愛」と「誠」と「調和」の3つの言葉で表されるものなのです。自分では、気づいていないか

もしれませんが、皆さんそのものが愛と誠と調和に満ちた存在なのです。あるいは、「あなた自身が仏である」と言ってもいいでしょう。

ところが我々は、愛と誠と調和に満ちた魂を持っていると同時に、肉体というものも持っています。この肉体を維持するために、我々は食物を通じて栄養を取り続けなければなりません。また、食料がなければ人から奪ってでも自分の肉体を守ろうとする欲望さえ持っています。

もともと人間の本質とは、愛と誠と調和に満ちた美しいものであるはずなのですが、魂が肉体をまっていますから、最初は肉体が発する欲望が出てきてしまうのです。

勇気を持ってこの魂の外側を覆っている欲望を少しでも抑え、自分の本質である愛と誠と調和に満ちた魂が出てくるようにしなければなりません。そうすることによって、すべてのもの

を生かそうとする宇宙の意志、宇宙の心と調和させていくのです。

きれいな心で願望を描く

きれいな心で描く願望でなければ、すばらしい成功は望めません。強い願望であっても、それが私利私欲に端を発したものであるならば一時的には成功をもたらすかもしれませんが、その成功は長続きしません。

世の道理に反した動機に基づく願望は、強ければ強いほど社会との摩擦を生み、結果的には大きな失敗につながっていくのです。

成功を持続させるには、描く願望や情熱がきれいなものでなければなりません。つまり、潜在意識に浸透させていく願望の質が問題となるわけです。そして、純粋な願望をもって、ひたすら努力を続けることによって、その願望は必ず実現できるのです。

先述の『仏教聖典』にあるように、お釈迦様は「心に描いたとおりになる」と仰っています。心に思った

ことは全部現実として現れると言うのです。

そのとおりなのですが、しかしこれほど証明しにくいものはありません。少しくらいきれいな心で願ったからといって人生がうまくいくはずがない、誰もがそう思うことでしょう。実際には、なかなか思ったとおりにうまくいかないし、むしろ悪い心がけを持った人のほうがうまくいっているというケースさえ、よく目にされていることと思います。

そのため、人生において「あなたが心に描いたとおりの結果になります」と言われても、どうしても素直に納得できないのです。もし、善には善、悪には悪と1対1の対応で結果が現れるなら、悪などはびこらないはずなのですが、そこは曖昧模糊としていて、真面目にやっても人生は良くならないし、逆に相当な悪でも成功する人間がいるようにも見える。そのために、「世の中はおかしい。

不公平だ」となってしまって、きまじめな生き方を誰もしようとは思わないのです。

しかし、「因果応報」と言うように、実際に人生は、心に思ったことと ^{すんぶんたが}寸分違わず現れてきます。ただ、スパンが長いわけです。だいたい30年くらいのスパンで見ると帳尻が合うはずなんです。

心に描いてから結果が出てくるまでが1週間や1ヶ月、長くてもせいぜい1年くらいであれば、皆もっと心や考え方を大切にすることでしょうけれども、30年くらいかけてようやく結果が出たり、ものによっては30年たっても結果が出なかつたり、ときには死ぬまで出ないこともあるものですから、なかなかそうはならないのです。

1920年頃、イギリス・ロンドンの町にスピリチュアル（霊的）なものを信じている人たちがおり、週末友達と集まって交霊会を開いていました。そこにはい

つもシルバー・バーチというネイティブ・アメリカンの霊魂が出てきて話をしていたらしく、その話をまとめた本が『シルバー・バーチの霊訓』（潮文社）というタイトルで10巻ほど出版されています。これは、シルバー・バーチの霊が精神統一をした人にとりついて、その口を借りて話した内容の記録なのですが、その本ではシルバー・バーチというネイティブ・アメリカンの霊は、「因果応報」について次のような趣旨のことを言っているのです。

【現世で生きているときに思ったこと、考えたこと、行ったことは、いいものはいいように、悪いものは悪いように結果として出てくるということを、皆さんは信じてはいないでしょう。それは、あまりにも結果が出てくるまでのスパンが長いからです。しかし、私が今いる『あの世』までも含めた長いスパンで見ると、まったく寸分の狂いもないくらい、相応の結果が出て

います。】（この本を読むと、この地球上に何故 70 億人を超える人々が居るのか、人は戦争をするのか、その理由が見えてきます。）

つまり、肉体を持って生きている現世だけで考えるのではなく、あの世まで通算してみれば、ものの見事に、因果応報は成立しているというのです。

きれいな思いでなくても、願望は実現します。人をやっつけてでも、同業者の足を引っ張ってでも、自分が立派に成りたいと強く思い、誰にも負けないように努力をすれば、成功は出来ます。極端に言えば、欲望の塊や我利我利亡者であっても、成功はするのです。しかし、それは決して長続きしません。長いスパンで見れば、その成功は持続できるものではないのです。

努力をしない人は論外ですが、例えば心がきれいで、仏のように他人のためだけに努力しているという人がいます。自分が金もちになる必要はない、他人のため

に尽くすことこそが私の人生だと心底思っていること自体は、たいへんすばらしいことだと思います。

しかし、先ほども述べたように、自分は成功したいと思っているのに、他人のことばかり考えていては、成功できるはずがありません。自分の人生を良くするには、まず誰にも負けないくらい努力をするということが必要です。そのときに美しい心でがんばらなければならぬのです。

※2024年10月号に続きます。